

⑤ まち・産業の復旧

府内の市町から避難指示や避難勧告が出され、多くの人々が避難しました。電話が不通になったり、停電、断水も発生しました。電気は翌日に85%が復旧、水道も2日後には90%が復旧し、まちが元の暮らしに戻るようみんなで協力しました。



体育館に避難する住民(福知山市内記) 京都新聞社提供

今では災害があったこともあまりわからないけど、元どおりになるまでにたくさんの人々の努力があったんだね



泥をかぶって使えなくなったたたみや家具

たくさんの水や泥で使えなくなったんだね



グラウンドがゴミ置場になったんだって。新しい土を入れて使えるまでに半年かかったそうよ



学校では浸水したりグラウンドに土砂が流れ込んだりして、北中部の8割以上が大きな被害を受けました。授業の再開に数日かかった学校もあり、福知山市立北陵中学校では土砂崩れなどで校舎が使えず、近くの公民館で授業を行いました。



浸水した間人中学校の体育館(京丹後市)



家庭から出されたゴミが積み上げられた市民グラウンド

農林水産業・商工業の復旧

野菜、黒大豆、かぶ、なし、小豆などの農作物が被害を受け、強い風雨でビニールハウスや倉庫などが壊れたところもたくさんありました。また、漁船が転覆、破損したり、定置網が流されたりして、大きな被害がでました。

丹後地域の主な産業である織物業関係では、浸水等によって工場の機械が被害を受けました。また、天橋立などの観光地では、旅行のキャンセルや建物などにも被害がありました。

各地では、いろんな支援を受けながら、早く仕事が再開できるようにみんなで力をあわせました。



暴風にとばされたビニールハウス

強風で果物が落ちてしまったなし畑



漁港には被害を受けた船が折り重なるように

丹後ちりめんの織機が大打撃



当時の加悦町長
小西 英雄さん

旧加悦町では役場が濁流の中、孤立してしまいました。丹後ちりめんの産地であるこのあたりは軒並み織機が泥をかぶるといふ被害を受け、廃棄した機械も数多く、泥の除去をして、再操業までにたいへん時間がかかりました。

泥水につかった織機の修繕



京都新聞社提供



丹後ちりめん

●死傷者の数

死者	15人	重傷	14人
行方不明者	0人	軽傷	188人

●避難した人の数

避難指示による	1,021世帯	2,750人
避難勧告による	1,488世帯	4,060人
自主的に避難した人	291世帯	810人

●府内のライフライン被害

停電	79,222世帯	10月24日全世帯復旧
水道断水	34,282世帯	11月1日全世帯復旧
電話不通	2,439世帯	10月25日全世帯復旧

●家屋の被害

全壊	26棟
半壊	328棟
一部破損	3,151棟
床上浸水	2,726棟
床下浸水	4,376棟

●学校の被害

小学校	89か所
中学校	36か所
高校	36か所
被害額	約4億円